

趣旨	みんなの「やりたい！」が実現できる
目的	「自分ができることで、自分が元気になり他者にもおすそわけできて参加者が健康・元気になる」という果実（収穫）を得ること
目標	内に秘めた目標…人付き合いがちょっと苦手な人、引きこもっている人も気軽に立ち寄れるような場所。同世代間だけでは得られない居心地の良い温かい空間づくりをし、集いやすい場所を目指す。

## プロジェクトのセールスポイント

参加者が「ハレ」の場所と感ずることができそうな場所づくり。  
その場所に来ると自分にスポットがあたるような場所。劇場空間のようなイメージ。  
「心のステージドアを開けて、輝きの舞台へ！」

## 活動の報告 こんな活動をして、こんな反応がありました

## ●実施の概要●

**たからもの展①(プレ開催)**

- ・プロジェクトメンバー8人  
+村田さん(ピノスより)が参加。
- ・コーヒーを飲みながら、各自のたからもの紹介
- ・体操コーナー
- ・お菓子と抹茶を飲みながらトークタイム

**たからもの展②**

- ・プロジェクトメンバー8人  
+住民3人+子ども1人参加
- ・新規参加者のたからもの紹介  
(御朱印披露・バイオリン演奏)
- ・体操コーナー
- ・コーヒー又は抹茶とお菓子&フリートーク  
(抹茶点て体験あり)

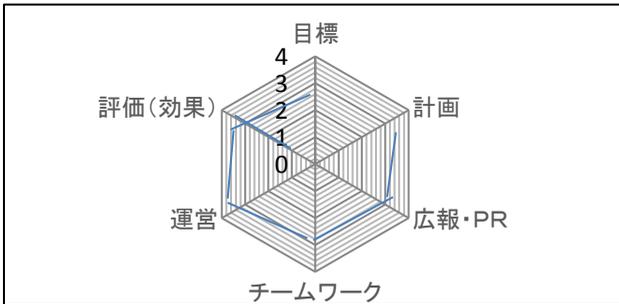
イベント名	回数	実施日	参加者数
たからもの展(プレ)		1月27日	9名
たからもの展		2月18日	12名(子ども1含む)
	計2回	延人数合計	21人
<b>メンバー会議</b>			
5月13日		9月3日	
6月26日		9月25日	
7月2日		10月11日	
7月25日		12月23日	
8月2日		*プレ開催*	
*中間発表*		2月3日	
		*たからもの展*	
		2月26日	

## ●参加者の声や様子●

- ・皆さんの意外な一面が知れて楽しかった。
- ・知らない話を知ることができて、とても興味深かった。
- ・体操で身体を動かして気持ちよかった。
- ・”母”は子どものことがなにより大切なのだなあと思った。
- ・御朱印船の話がきけて面白かった。歴史を感じた。
- ・バイオリンの生演奏が聴けて、とても優雅な気分になれた。バイオリンへの思いを話され、トークも楽しかった。
- ・プレ実施のときは時間がかかなり延長したが、イベント当日は司会進行がうまく調整していただいたので時間どおりに終わった。
- ・固定した場所の確保が早く実現すれば良いと思う。
- ・限られた人数、時間の制約の中で適切な役割分担、責任感が発揮され、よいイベントが出来たと思う。
- ・精華町の民度は相当高いと感じた！



活動の評価 やってみてこんなことを思いました



4：期待を上回った  
 3：期待通りであった  
 2：期待を少し下回った  
 1：期待をかなり下回った  
 0：不明

1. 目標・・・15点  
 チーム全員が納得できる目標設定ではあったが、実現性が低かった。
2. 計画・・・12点  
 実施時期や場所の設定が計画通りに進まなかった。
3. 広報、PR・・・13点  
 PRについては全般的に適切だったとは言い難い。
4. チームワーク・・・15点  
 お互いの意見を尊重し、協力しあえた。
5. 運営・・・14点  
 時間管理の点で反省点があった。
6. 評価（成果）・・・14,5点

手ごたえを感じたこと・良かったこと	大変だったこと・反省するべきこと	気づいたこと・学んだこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の「ハレ」の空間づくりができた。</li> <li>・古民家で少人数で開催することで、ほっこりするよい雰囲気をつくれた。</li> <li>・世代間交流ができた。</li> <li>・「私のたからもの展」が本当のたからもの展になったこと。</li> <li>・バイオリンの演奏をして頂いて、生演奏の魅力を感じた。</li> <li>・メンバーの人となりを知ることができた。</li> <li>・今回のメンバーとの話し合いの機会を地域住民の方へと広げられたら良いと感じた。</li> <li>・劇場空間の概念は忘れないでほしい。</li> <li>・みんなでこたつに入っていたので、堅苦しくなくてよかった。</li> <li>・多世代交流を果たせた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画から実施に移すまで時間を要した。もう少し気候の良い時期に開催の方が良い。</li> <li>・1回目の実施日が雨風の強い日で駐車場がなかったため、移動に苦労した。時間もかなり押した。</li> <li>・2回目は場所を変えて実施したが使用料がかかった。</li> <li>・最大の目標である、ひきこもっている方へのアプローチ。</li> <li>・イベントの開催を目的とせず空間づくりを目的としたため、長期的な活動が必要であったこと。</li> <li>・リーダーのいない会議の運営。</li> <li>・諸般の理由により薄いコーヒーを出してしまったこと。</li> <li>・自分自身がしっかり目標を意識して運営に参加するようにしていなかった。</li> <li>・場所の確保が遅かった。家の中の状態（掘り炬燵がある等）が把握しておいなかったので、体操がしにくかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に進めることと時間管理の大切さと難しさ。参加者が皆、多忙であるので日程調整に苦労した。</li> <li>・初めにもう少し詳しい計画とスケジュールを決めておいたら良かった。連絡をこまめに取りあい、無理な場合は当初の予定に近づけるよう軌道修正しながら、実施に向けて進めていけばさらに良かったと思う。</li> <li>・派手なパフォーマンスよりも真面目にコツコツ積み上げる力は凄いと思った。</li> <li>・60代の自分から若い方に伝えることは何だろうか、伝えられることがあるのか、終わってから考えました。亡くなった祖父母や親たちからは多くのことを学んだと思い出しました。</li> </ul>

これからに向けての課題

- ・場所探し。費用がかからず、安心して集える場所を探すことが難しい。
- ・仲間集め。誘う人が見つからない、誘いたい人と都合が合わない等。
- ・ひきこもりがちの人へのアプローチの難しさ。対象者へのPR方法。
- ・定期的、長期的な開催のための予算繰り。
- ・次回も楽しんで頂けるようなテーマで「人と人をつなぐ」居場所づくりを目標にしていきたい。
- ・「やりたいこと」から「やるべきこと」へ移りすぎたため、持続可能性に繋がらなかった。
- ・プロジェクト6か条の中の「思いやりの心を持つ。お互いに忖度しましょう」の言葉に引きずられて、無意識のうちに”行政のあるべき”に忖度してしまったのかもしれない。
- ・手段と目的が反転してしまったため、「何をすればよいか」が先行し「自分がやって楽しい」が二の次になってしまった。
- ・構想を拡げていく時期にメンバーの都合が合わず会議開催がしにくかった。
- ・「ひきこもりがちの人にアクションをかける」と位置付けたが実践活動がやりにくかった。
- ・「ハレの場」「心のスポットライト」「劇場空間」という「言の葉」は今後の行政施策へのヒントを提供できたかなと思う。
- ・やったことは評価できるが、せいか365の趣旨からみれば少し外したかも？
- ・今回のような、少人数でも良いのでコミュニティスペースづくりを続けていけたらもっといろいろな方に交流の場に参加してもらえと思う。
- ・参加者を探す（募集する？）のはとても難しい。大々的にチラシを配ると集まりすぎて表面的になるだろうし、全く知らない人に参加していただきたいがどうすればよいか？
- ・他のチームとコラボしても楽しいと思いました。

メンバー

上原雅夫 高鍋一三 錦光榮 三原尚幸 嶋本弥生 五十嵐勇 木村博文  
 村吉里恵子 安井佐織 榎木蘭由佳理

## メンバーの感想

新しい出会いが出来た。  
各自の大切にしている  
思いが発見出来た。

メンバーの人となりを知ることが出来たことは、とても良かった。その他の住民の方へ広げることが出来ると更に良いと思いました。



みなさんのたからもの♡

身体と心をほぐしてくださったインストラクターさんにも感謝。コーヒーもおいしく淹れていただいた。喫茶店のコーヒーのようでした。普段ほとんど使われていない空き家も、コミュニティスペースとなり、人が集まりにぎやかな家に戻った。開催の時期が遅くなったが、こたつに入りほっこりできたのでこの時期で良かったのかなと思いました。

民家でほっこり集まって、話したり、体操したり、楽しかった。



慶長時代の御朱印状

大切にせまられて、薄茶を点てて、お茶を濁す観があったようにも思いましたが、皆様のおかげで良い時間を過ごすことができました。御礼申し上げます。

プロジェクトがあったからこそ出会えた人・できたつながりに感謝！



バイオリンの生演奏にうっとり…

初めて抹茶を点てさせていただきました。勢いでしたので、上手くできたかわかりませんが、色味がきれいで、泡がたっていて感動しました。

1年間一緒にプロジェクト活動をおこなうのは初めてで、他市にもない活動ではないかと珍しさに興味があり参加した。たからもの展について互いに話をした。顔を合わせるだけでは知らなかった成育歴や皆さんの人生の一端を聞けて親近感がわいた。

古民家のほっこりした空間の中で、みなさんの大切なものについてのお話を聞かせて頂き、意外な一面を知ったり、みんなで身体を動かしたり、素敵な演奏を聴かせていただいたりと、楽しくあっという間に時間が過ぎました。一緒に時間を過ごしてくださったみなさんに感謝いたします。

古民家の雰囲気最高！  
いろいろ体感できてよかった。  
それぞれの「ハレ」がそこにあった。



みんなで楽しく体操♪

# メンバーの娘さんお手製のちらし

## たからもの展

～大切な物について

語りませんか?～

AM  
10:00  
～12:00

1 日時 令和2年 2月18日(火)

2 場所 精華町北稻八間寄田長21  
(精華町 消防署すぐ近く)

3 参加費 200円 (お茶、お菓子)

主催: せいか365プロジェクト  
「コミュニティ スペースづくり」プロジェクト

